

旧宮津エネルギー研究所

(火力発電所跡地)

用地分譲のご案内

世界に通じるサステナブルをテーマにした拠点形成に向け、
当地は多くの魅力と可能性を有しています。



概要	
所在地	京都府宮津市小田宿野1001
面積	総面積：約43ha うち平地：約21ha
状況	<ul style="list-style-type: none"> ・発電設備等を撤去中 ・船舶（最大5,000t級）が接岸できるバースあり
用途地域	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画区域（非線引き白地地域・用途指定なし） ・建ぺい率70%、容積率200% ・敷地内の法面・緑地の一部は「丹後天橋立大江山国定公園（第2種特別地域）」に指定
電力	<ul style="list-style-type: none"> ・高圧(6.6KV)、特別高圧(77KV)送電線あり ※受電にあたっては関西電力送配電株式会社と協議が必要。電圧、契約電力により工事期間・負担金が必要となる可能性あり。
用水	<ul style="list-style-type: none"> ・上水給水管を整備予定（整備後は宮津市管理となる予定）
排水	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道整備区域外のため、立地企業様にて敷地内で浄化処理後、排水路へ放水 ・排水路の管理は立地企業様相互で実施 ・詳細は、今後整理予定
引渡時期	<ul style="list-style-type: none"> 第1期：令和10年度目途 第2期：令和10年度以降

旧宮津エネルギー研究所は「サステナブルパーク」の中核エリアとして、京都府、宮津市、関西電力株式会社の3者が一体となって産業集積に取り組んでいます。



<サステナブルパークとは？>

京都府総合計画における「産業創造リーディングゾーン」の一つに位置付けられ、大学、企業、研究機関等と連携したオープンイノベーションを通じて、自然エネルギーや豊かな自然環境を由来とする新産業の創出や地域活性化に取り組むエリア



旧宮津エネルギー研究所は、岸壁利用が可能で、送電線の整備に有利な敷地です。



さらには、近隣には京都府の海洋センター、水産事務所、栽培漁業センター、国の水産技術研究所、京都府立海洋高校などの水産研究施設・教育機関が集積しております。

宮津市ってこんなところ。

MIYAZU-CITY

サステナブルパークの中核を担う旧宮津エネルギー研究所周辺の地域は、日本三景の天橋立をはじめ、豊かな海洋資源や自然に恵まれた土地です。

観光

- ・北近畿の観光拠点として、年間約300万人の観光客が訪れています。
- ・天橋立をはじめとした既存の観光資源が多数。
- ・観光入込客数 276万人 (R5) (R元：321万人、H26：273万人)
- ・外国人観光客宿泊数 5.8万人 (R5) (R元：5.4万人、H26：1.9万人)

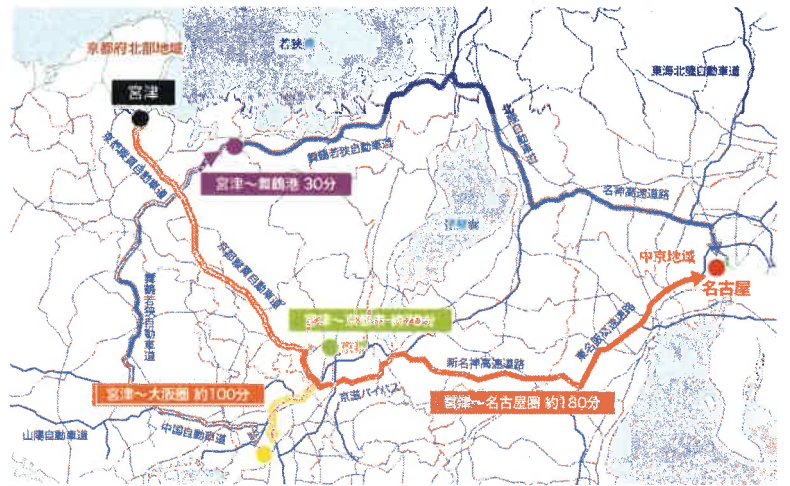
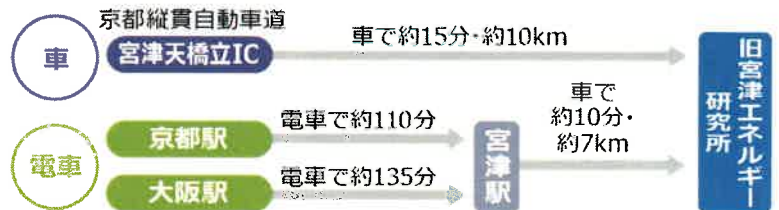
農林水産業

- ・水稲を主体として、花き、山の芋などの豊富な地域特産物。
- ・定置網漁業を中心とした沿岸漁業も盛ん。

商工業

- ・ニッケル製造、メリヤス生地製造などの工場や海産物加工。

◆旧宮津エネルギー研究所 交通アクセス



\\ 各種優遇制度で事業誘致を支援します! //

詳しくはコチラ



製造業が
立地する
場合



京都府

- 事業所設置促進補助金 投資額の最大10%
- 府内常雇雇用促進補助金 新規府内常雇雇用者数 × 最大50万円



宮津市

- 立地促進奨励金 投資額の最大10%
- 浄化槽設置費補助金 など

また、過疎地域における税の特例制度（事業税・不動産取得税・固定資産税の軽減）が利用可能

問合せ先

サステナブルパーク企業誘致推進協議会 Tel : 06-6459-0433 (連絡先：関西電力株) (事務局)